

# 特許抄録

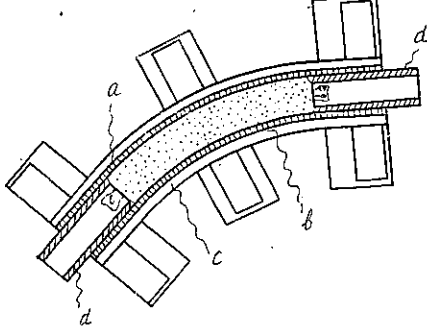
第二十卷第一號 昭和九年一月

## セメント・アスベスト曲管製造方法

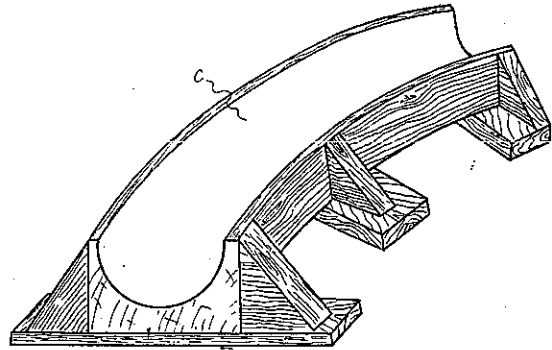
(特許第 103145 號 發明者 アドルフ・マザ氏)

この製造方法は任意の曲管を簡易迅速に製造せんとするものであつて、先づ製造直後のセメント・アスベスト管 (a) を採り (第一圖参照)、その中に砂或はその類似物を充填した袋又は壓縮空氣を滿せる護膜管等 (b) を挿入し、管の兩端より栓 (d) を施し、次いで該管 (a) を要求する角度及び龜裂の憂なき程度の曲率半徑を有する型枠 (c) 内に嵌合して該型枠 (c) に沿ひ彎曲せしめる (第二圖参照)。斯くして充分乾燥後型枠より取出し前記の充填物を抜き取る方法である。

第一圖



第二圖



## 氷雪溶解劑

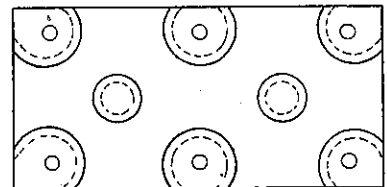
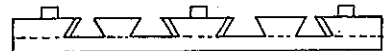
(特許第 103154 號 特許權者 (發明者) 横山信也氏)

この溶解劑は無水の鹽化苦土、鹽化アルミニウム、鹽化石灰又は硫酸苦土中の一種若くは數種の生石灰との配合より成る物であつて、酷寒地方に於て氷雪上に撒布して簡単に除雪解氷を行はんとするものである。

## コンクリート塊體及び類似物の製造法

(特許第 103266 號 發明者 アーサー・フランシス・セックストン氏)

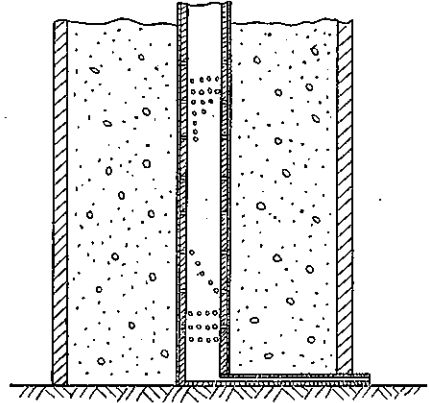
この發明はゴムを被覆せる優秀なるコンクリート塊體を経済的に製造する方法である。圖に示す如き蟻柄形の突部を有する軟ゴム製雌型を塑造せる可きコンクリート塊體を容るゝ塑造函の床面上に型部を上にして配置し、コンクリートを供給し固結するに到りて雌型をコンクリートより取離し、最後にコンクリート塊體の面上に硬化ゴム被せを裝着して和硫しこれに依り上記ゴム層を蟻柄凹所に係合せしめるのである。



## コンクリート過剰水分離方法

(特許第 103322 號 特許権者(發明者) 松繩信太郎氏, 山本信行氏)

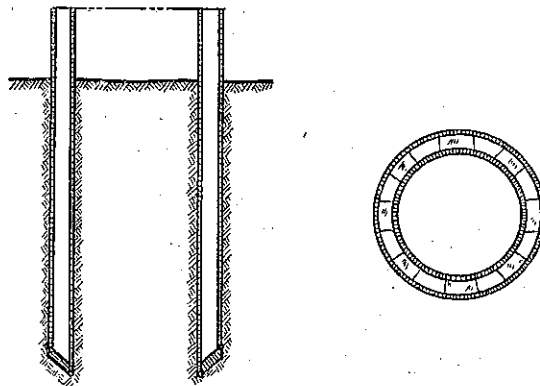
この方法はコンクリート充填後迅速に過剰水を誘出する方法であつて、分水の時間を短縮することに依つて材料の分離を防ぎ均一にして堅固なるコンクリートを得んとするものである。圖に示す如く多数の小孔を有する筒の周圍に布又は濾紙の如きものを張り付け枠板の中間に置きその底部に小管を取付けたる後その周圍にコンクリートを充填するものである。然る時は過剰水分は上昇する代りに筒内に誘導せられ小管に依り外部に排出されるのである。



## 圓形豎坑の構成方法

(特許第 103481 號 特許権者(發明者) 木田保造氏)

この發明は適當なる間隙を有する二重管を廻轉せしめ乍ら地中に壓入し所望の深さに於て二重管を適當丈引揚ぐる事に依りその横斷面に相當する空隙を存せしむると同時に二重管の底部を開口せしめ、これより前記空隙内にコンクリートを充填し順次此の操作を繰返してコンクリート管を構成し、次いで内部の土砂を掘鑿してコンクリート管壁より成る豎坑の築造方法である。

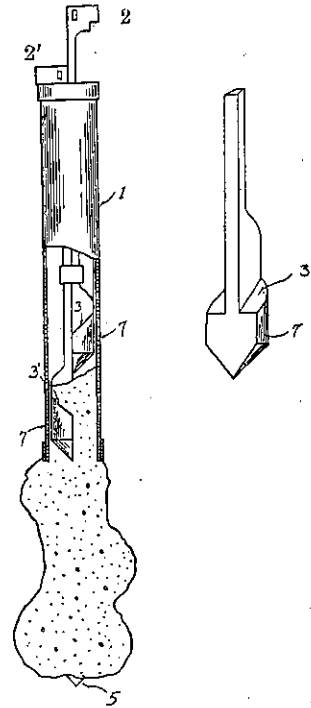


## コンクリート杭築造装置

(特許第 103590 號 特許権者(發明者) 山口宗吉氏)

これは型管(1)(第一圖参照)中に挿入せる互に摺動する2本又はそれ以上の下端に衝頭(7)を有する衝棒(2),(2')(第一圖参照)を外部より各個に上下し得るやうになし、衝頭を上下に離して通路(3),(3')を形成せしめ型管内に投入せるコンクリート衝棒にて交互に壓迫を加ふべくしたる装置である。

第一圖 第二圖



## 杭 打 機

(特許第 103563 號 發明者 高田爲三氏 特許権者 タカタモーター製作株式会社)

この發明は、能率良好にして作働確實なる内燃機式杭打機を得んとするものであつて、打錐を兼ねた氣筒の氣筒頭を排氣弁(26)を有する動鏢にて構成し該動鏢を發條にて下方に押壓すると共に槓桿の一端に連結し該槓桿の他端に重錘(23)を懸吊し、動鏢系と重錘系との關係を兩系が大なる加速度が與へられざる場合には槓桿の支點の周りに於ける動鏢系の廻轉力率が重錘系の夫れより大となり、大なる加速度が與へられたる時はこれと反對となる如く爲したるものである。圖中(30)は吸入弁、(12)は氣化器を示す。

